

令和8年度専攻科入学者選抜試験（学力による選抜）における 採点ミスについて

令和7年7月18日(金)に実施しました令和8年度専攻科入学者選抜試験（学力による選抜）のプロジェクトデザイン工学専攻「建築系（建築環境工学）」の採点において、下記のとおりミスがあることが判明いたしました。

このことは、本校の入学者選抜試験に対する信頼を損なうだけでなく、受験者をはじめ関係者の皆様に多大な御迷惑をおかけするものであり、深く反省するとともに心からお詫び申し上げます。

今後は、入学者選抜試験におけるチェック体制を厳しく再点検し、採点ミスの再発防止に全力をあげるとともに、全教職員に対して入学者選抜試験業務の重要性について注意喚起を行い、ミスの防止に万全を期する所存です。

受験者をはじめ関係者の皆様には、このたびの対応について御理解いただきますようお願いいたします。

記

1 採点ミスの概要

令和8年度専攻科入学者選抜試験（学力による選抜）のプロジェクトデザイン工学専攻「建築系（建築環境工学）」の試験問題の設問 3 (10) において、選択肢「東向壁」を正答として採点すべきところを選択肢「水平」を正答として採点していたことが、学校ホームページに掲載している過去問及び模範解答を閲覧した学生の指摘により令和8年4月に判明しました。

2 本校の対応

以上を受けて本校では、「建築系（建築環境工学）」の試験問題を解答した受験者1名の答案を確認したところ、採点の誤りがあり、合格者の順位に変動があったものの当該受験者及び受験者全員の合否に影響がないことを確認いたしました。

また、当該受験者1名に対し説明、謝罪を行いました。

3 再発防止策

今後、問題作成者と問題確認者の専門適性の確認、外部教員の活用等によりチェック体制を充実させ、採点ミスの再発防止を徹底いたします。

令和8年5月1日

呉工業高等専門学校長
由井義通